

2010年2月8日

## 社団法人全国高等学校PTA連合会 株式会社リクルート 合同調査 『高校生と保護者の進路に関する意識調査』

社団法人全国高等学校PTA連合会  
会長 高間 專逸  
進路対策委員会委員長 小出 邦彦  
株式会社リクルート  
執行役員 進学カンパニー長 井上 智生

社団法人全国高等学校 PTA 連合会(所在地:東京都千代田区、会長:高間 專逸)と株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:柏木 齊)は、高校2年生をもつ保護者とその子どもに対して、コミュニケーションの実態と進路観の現状に関する調査を実施いたしました。ここに、集計結果がまとまりましたので、抜粋してご報告申し上げます。

### ■子どもの進路選択について、アドバイスを「難しい」と感じる保護者が増加(7割超) 理由は「社会がどのようになっていくのか予測がつかないから」が10ポイント超増加

(3ページ)

保護者の73.1%が子どもの進路選択についてのアドバイスを「難しい」と感じており、2005年以降増加している。理由は「社会がどのようになっていくのか予測がつかないから」(62.3%)が連続のトップで、2007年(52.1%)から10ポイント超増加し、突出している。

### ■高校生の進路を考える時の気持ちは「不安」が5割、「楽しい」が3割 保護者とよく話している高校生ほど「楽しい」と感じる割合が高い

(4ページ)

高校生の進路を考える時の気持ちは「自分がどうなってしまうのか不安になる」がトップ(49.4%)。次いで「自分の可能性が広がるようで楽しい」(25.9%)。保護者と進路について話す頻度別にみると、「よく話をする」層では「自分の可能性が広がるようで楽しい」が39.7%である一方、「まったく話さない」層では17.0%と、保護者とのコミュニケーションと子どもの進路意識に相関が見られる。

### ■保護者がよく使う言葉は「好きなことをしなさい」がトップ

(5ページ)

進路について話をする時に保護者がよく使う言葉を保護者と高校生それぞれに聞いたところ、保護者・高校生とも「好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」がトップ(保護者51.6%・高校生43.3%)。「自分でよく考えなさい」が保護者で2位(46.1%)、高校生で3位(32.6%)であった。

### ■進学を希望する保護者\*の8割が進路情報収集に意欲

理由は「子どもと一緒に考えたいから」

(7ページ)

子どもの進路選択に関して保護者自身による具体的な情報収集の状況と今後の意向を聞いたところ、「どんな学校があるか調べる」(82.8%)、「どんな学部・学科・コースがあるか調べる」(81.9%)、「興味をもった学校の入試方法を調べる」(79.9%)が8割程度と、高い情報収集意欲がうかがえる。その理由には、「子どもと一緒に考えたいから」(67.4%)、「具体的な情報を知らないと進路についての会話ができないから」(51.6%)が上位となり、子どもと一緒に考え、話し合うために情報収集をする姿がうかがえる。

\*子どもの卒業後の進路として大学・短大・専門学校のいずれかを希望している保護者

データ転載の際には、「(社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ」と明記していただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

[https://www.recruit.jp/support/inquiry\\_press.html](https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html)

## 【調査概要】

### ■調査目的

－高校生をもつ保護者とその子どもにおけるコミュニケーションの実態と進路観の現状を把握し、進路に関する保護者と子どものコミュニケーションと進路選択サポートのあり方を探る資料とする

### ■調査主管

- －社団法人全国高等学校 PTA 連合会
- －株式会社リクルート 進学カンパニー

### ■調査方法

- －学校通しの質問紙による自記式調査
- －高校生 ホームルーム時にアンケート実施
- －保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡しで依頼、実施
- クラスごとに学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収

### ■調査対象

- －高校生(2年生)とその保護者
- －全国高等学校 PTA 連合会より依頼した9都道府県の公立高校 27 校  
(各都道府県:3校(普通科2校・専門学科もしくは総合学科1校 各校:2年生2クラスの生徒とその保護者))

調査対象校所在地	
2005年	北海道 青森県 群馬県 東京都 山梨県 福井県 愛知県 奈良県 岡山県 佐賀県 大分県
2007年	北海道 宮城県 栃木県 東京都 新潟県 静岡県 大阪府 香川県 福岡県
2009年	北海道 山形県 埼玉県 東京都 石川県 三重県 京都府 愛媛県 鹿児島県

※時系列データは毎年調査対象校が変わるため参考

※2005年は全国高等学校 PTA 連合会より依頼した10道県の公立高校30校とリクルートより依頼した東京都の私立高校普通科2校で実施

### ■調査期間

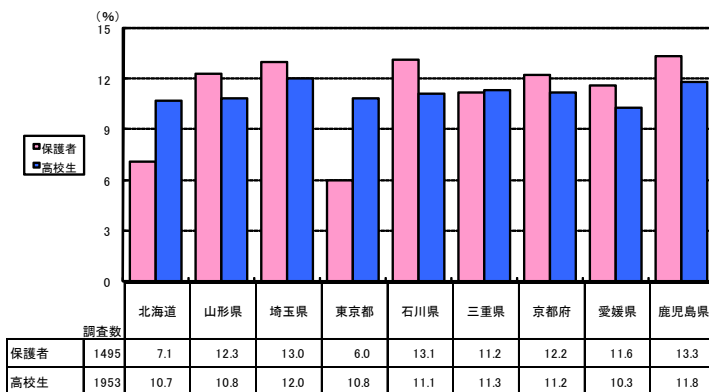
－2009年9月28日(月)～10月30日(金)回収終了

### ■有効回答数 (人)

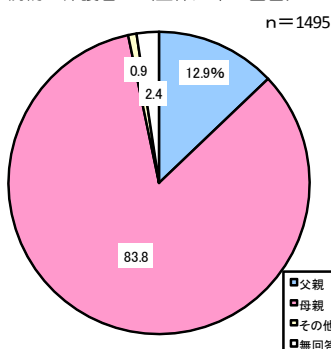
	保護者	高校生
2005年	2,181	2,478
2007年	1,541	1,802
2009年	1,495	1,953

## 【回答者プロフィール】

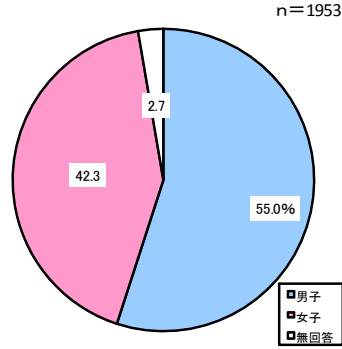
### ■調査対象校所在地(全体)



### ■続柄<保護者>(全体/単一回答)



### ■性別<高校生>(全体/単一回答)



【保護者が子どもにアドバイスすることの難しさ】<保護者>

子どもの進路選択についてアドバイスを「難しい」と感じる保護者が7割超に増加  
理由は「社会がどのようになっていくのか予測がつかないから」が突出してトップ

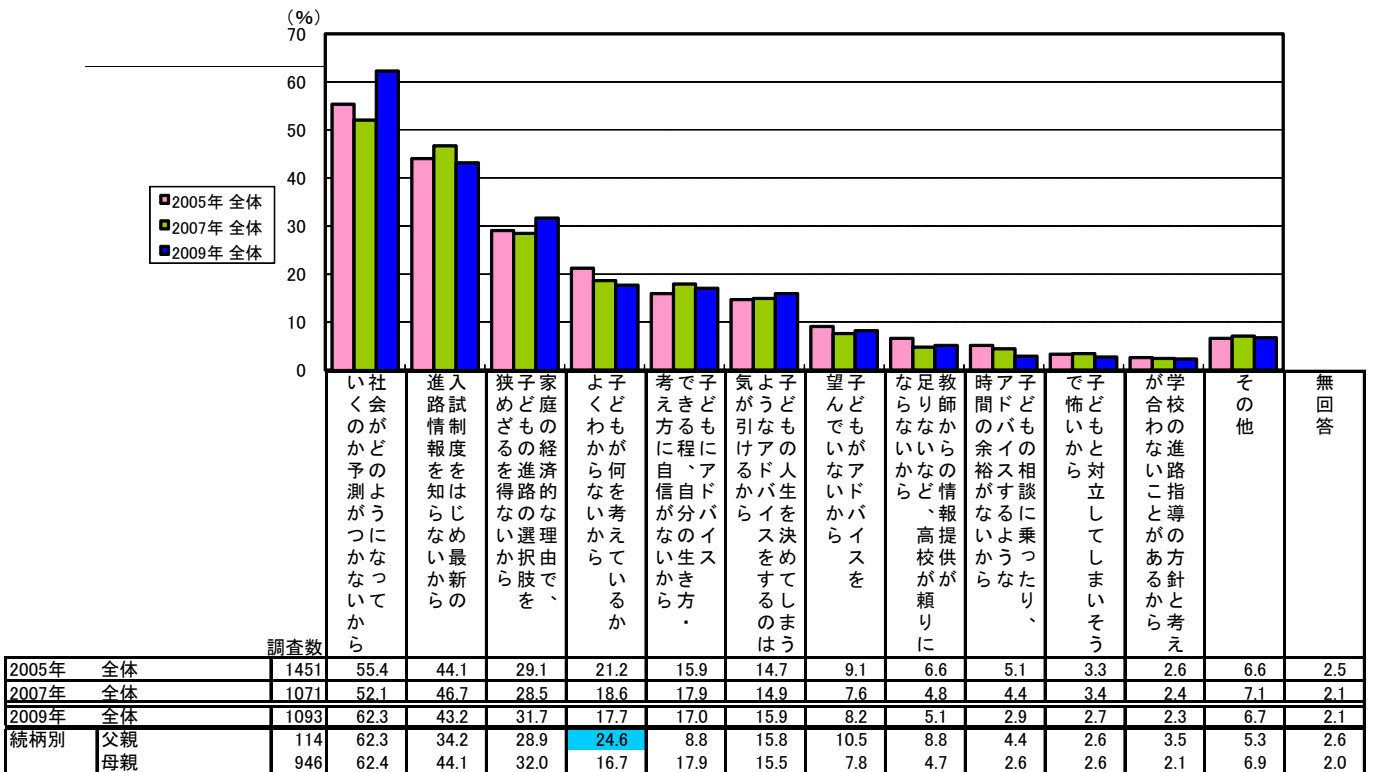
子どもの進路選択についてアドバイスを「難しい」と感じる保護者は7割を超え、2005年以降増加傾向が続いている(66.5%→69.5%→73.1%)。続柄別では、母親の方が父親よりもアドバイスを難しく感じている(父親59.1% 母親75.5%)。

子どもへのアドバイスが難しいと感じる要因は、トップの「社会がどのようになっていくのか予測がつかないから」(62.3%)が2007年(52.1%)から10ポイント以上増加し、突出している。

■子どもの進路選択についてアドバイスを難しいと感じるか<保護者> (全体/単一回答)

	調査数	難しい・計				難しい・計
		非常に難しい	やや難しい	難しいとは感じていない	その他	
●凡例						
2005年 全体	(n=2181)	17.1%	49.5	32.0	0.3	66.5
2007年 全体	(n=1541)	17.3	52.2	29.3	0.6	69.5
2009年 全体	(n=1495)	22.9	50.2	25.2	0.9	73.1
続柄別 父親	(n= 193)	20.2	38.9	38.3	1.6	59.1
母親	(n=1253)	23.0	52.5	23.1	0.7	75.5

■子どもの進路選択についてアドバイスが難しいと感じる要因は何か<保護者> (難しいと感じる/複数回答)



100.0 「2009年 全体」より10ポイント以上高い  
100.0 「2009年 全体」より5ポイント以上高い  
※「2009年 全体」の降順ソート

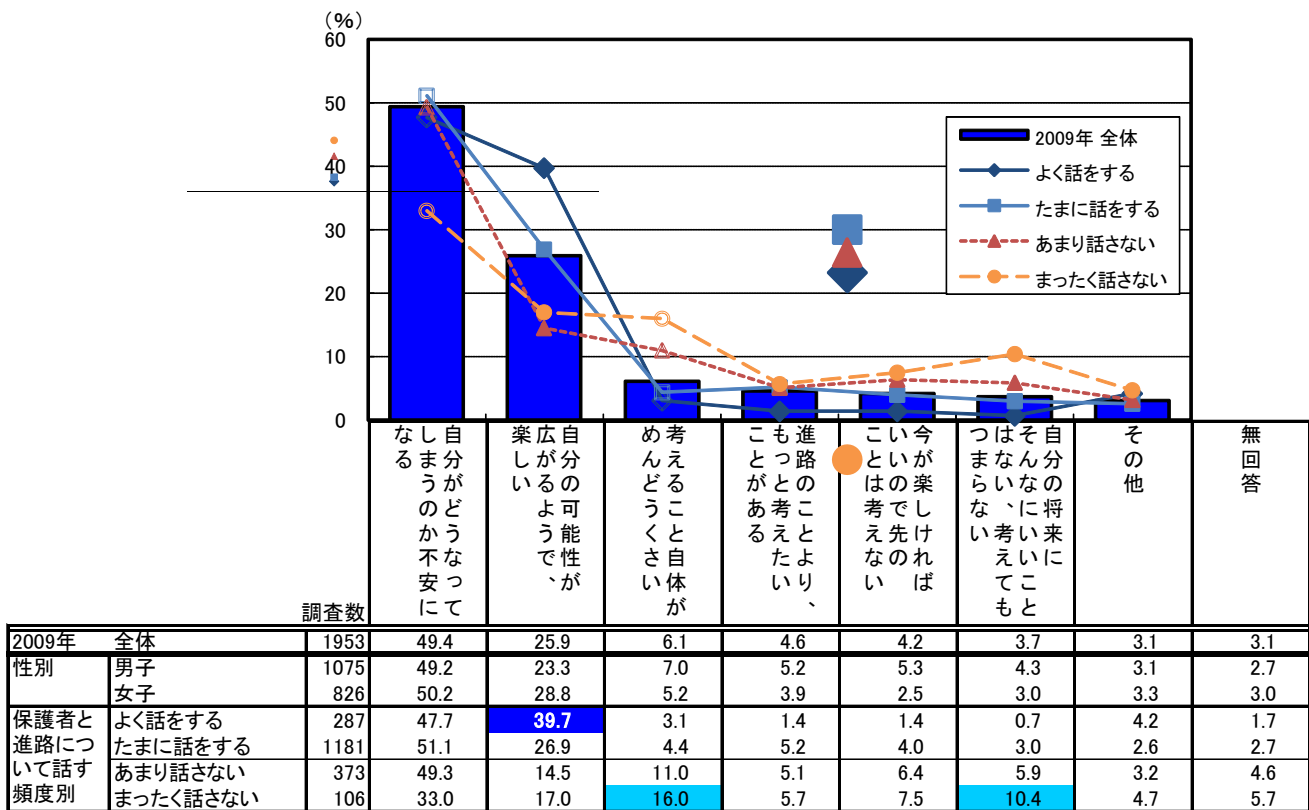
## 【進路を考える時の気持ちと保護者からのアドバイス希望】<高校生>

保護者とよく話している高校生ほど、進路を考える時「楽しい」気持ちになる割合が高い

進路を考える時の気持ちは「自分がどうになってしまうのか不安になる」がトップ(49.4%)。次いで「自分の可能性が広がるようで楽しい」(25.9%)。保護者と進路について話す頻度別にみると、「よく話をする」層では「自分の可能性が広がるようで楽しい」が39.7%であるのに対し、「まったく話さない」層では17.0%と20ポイント以上の開きがある。また、「まったく話さない」層では、「考えること自体がめんどくさい」(16.0%)、「自分の将来にそんないいことはない、考えてもつまらない」(10.4%)が相対的に高く、考えること自体に消極的な様子が見られる。

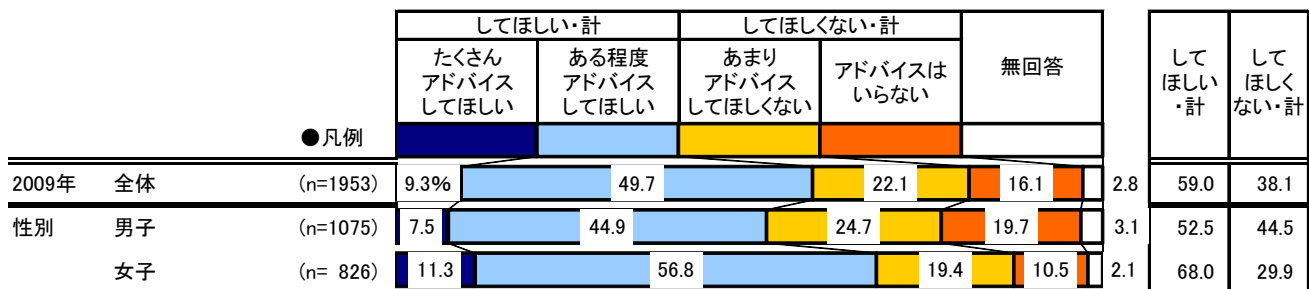
進路選択について保護者にアドバイスしてほしい高校生は59.0%。性別にみると、女子は68.0%と男子の52.5%を大きく上回る。

### ■進路を考える時、高校生はどんな気持ちになるか<高校生> (全体/単一回答)



100.0 「2009年 全体」より10ポイント以上高い  
 100.0 「2009年 全体」より5ポイント以上高い  
 ※「2009年 全体」の降順ソート

### ■進路選択について保護者にアドバイスしてほしいか<高校生> (全体/単一回答)



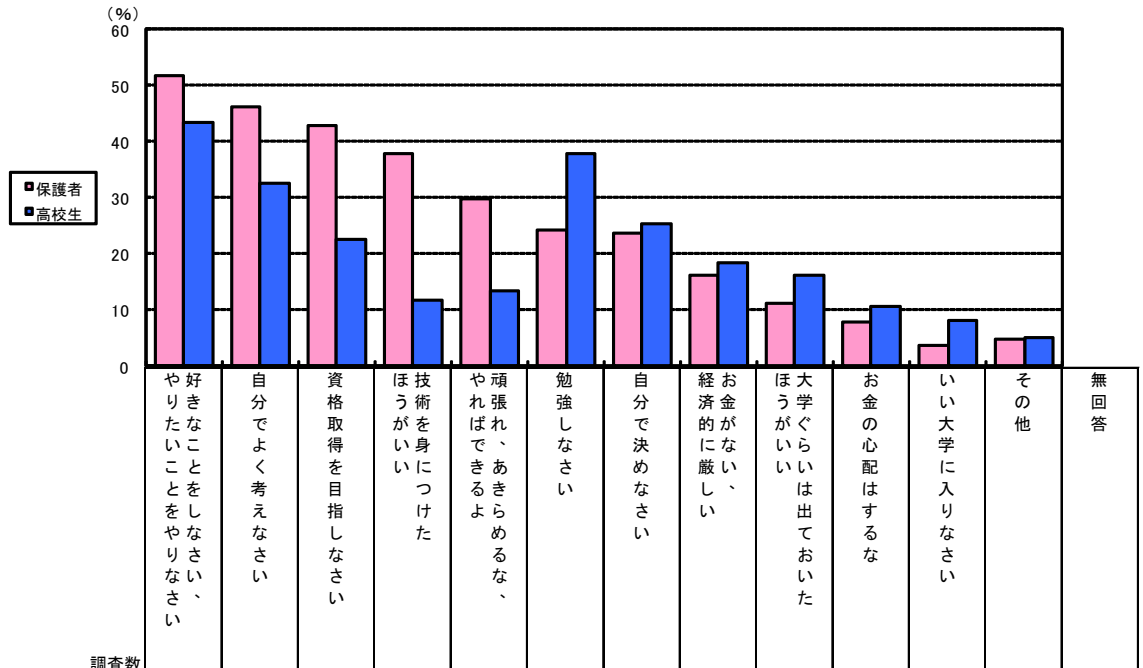
## 【進路について話す時に保護者がよく使う言葉】<保護者・高校生>

保護者がよく使う言葉は「好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」がトップ

進路について話をする時に保護者がよく使う言葉を保護者と高校生それぞれに聞いたところ、保護者・高校生とも「好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」がトップ(保護者 51.6%・高校生 43.3%)。

高校生の結果を進路検討時の気持ち別にみると、「自分の可能性が広がるようで、楽しい」層は、「好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい」が 55.2%となった。

■進路の話をする時に保護者はどんな言葉を使うか(全体/複数回答)



		調査数	好きなことをしなさい、やりたいことをやりなさい	自分でよく考えなさい	資格取得を目指しなさい	技術が身につけた	頑張ればできるよ	勉強しなさい	自分で決めなさい	経済的に厳しい	お金がない、お金の心配はするな	大学ぐらいは出ておいた	いい大学に入りなさい	その他	無回答
保護者		1495	51.6	46.1	42.8	37.9	29.6	24.3	23.7	16.2	11.2	7.7	3.7	4.7	1.9
続柄別	父親	193	51.3	42.0	36.8	33.7	31.6	22.3	27.5	16.6	9.8	11.4	5.7	3.6	2.1
	母親	1253	51.6	46.9	43.6	38.5	29.1	24.7	23.2	16.4	11.3	6.9	3.4	5.0	1.8
高校生		1953	43.3	32.6	22.5	11.7	13.3	37.7	25.4	18.2	16.0	10.5	8.1	4.9	1.7
続柄別	男子	1075	40.1	31.2	21.6	11.9	10.5	39.6	25.2	15.3	16.7	9.4	8.8	3.4	1.7
	女子	826	47.7	33.9	24.0	11.3	17.6	36.1	25.9	21.3	15.7	12.2	7.3	6.7	1.5
進路検討時の気持ち別	自分がどうなってしまうのか不安になる	964	41.4	34.4	25.5	12.3	13.2	41.2	25.5	17.4	17.7	10.2	8.2	4.0	1.8
	自分の可能性が広がるようで、楽しい	505	<b>55.2</b>	32.9	21.0	11.7	18.0	31.3	26.9	18.8	11.9	13.1	8.3	5.5	0.6
	考えること自体がめんどくさい	119	25.2	24.4	15.1	8.4	7.6	<b>45.4</b>	26.9	20.2	17.6	10.1	11.8	4.2	0.8
	進路のことより、もっと考えたいことがある	90	40.0	27.8	17.8	10.0	11.1	38.9	21.1	18.9	14.4	7.8	7.8	1.1	1.1
	今は楽しければいいので先のことは考えない	83	34.9	20.5	18.1	9.6	4.8	33.7	10.8	12.0	20.5	8.4	3.6	9.6	3.6
自分の将来にそんなにいいことはない、考えてもつまらない	72	27.8	26.4	20.8	12.5	12.5	<b>45.8</b>	23.6	<b>29.2</b>	19.4	6.9	9.7	5.6	1.4	

100.0 「2009年 高校生」より10ポイント以上高い

100.0 「2009年 高校生」より5ポイント以上高い

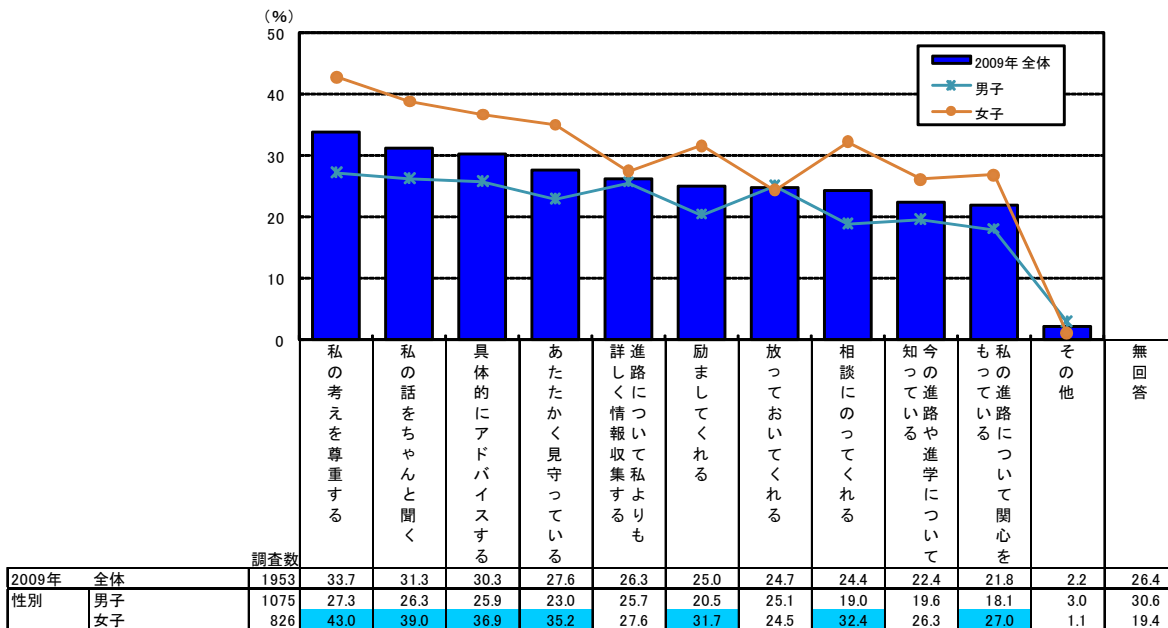
※「保護者」の降順ソート

## 【進路選択で保護者にしてほしいこと やめてほしいこと】<高校生>

### 高校生が保護者にしてほしいことは「考えの尊重」 やめてほしいことは「高望み」

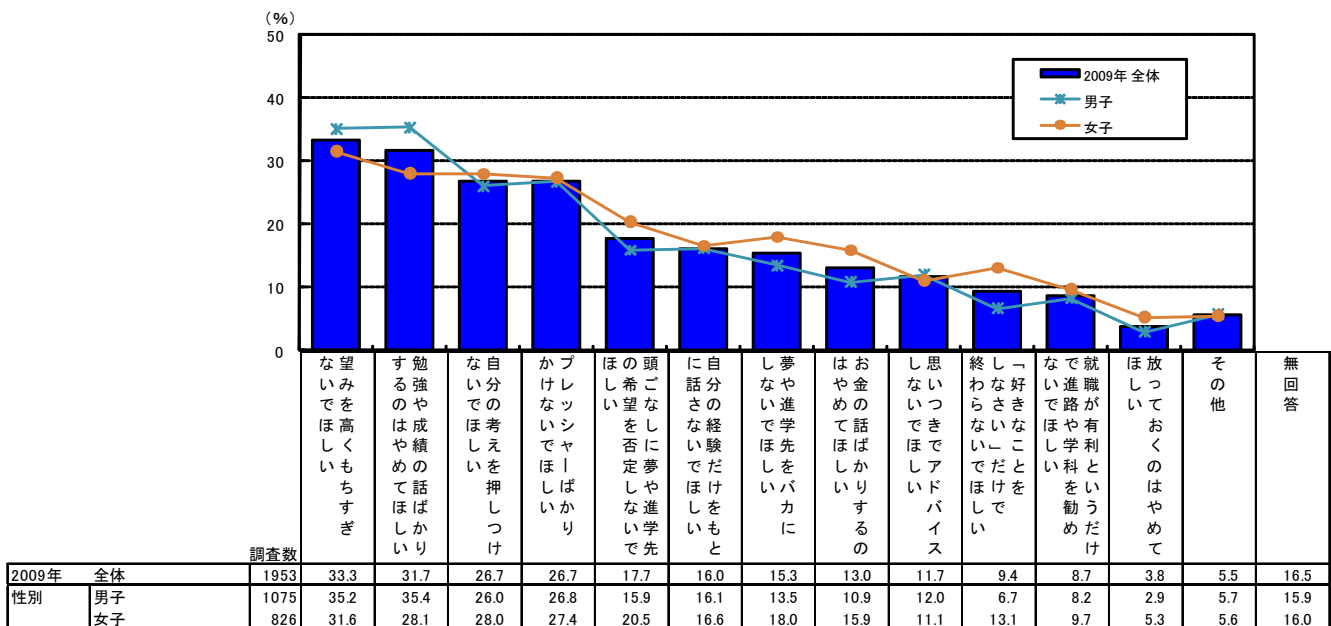
高校生が保護者にしてほしいことのトップ3は「私の考えを尊重する」(33.7%)、「私の話をちゃんと聞く」(31.3%)、「具体的にアドバイスする」(30.3%)。一方やめてほしいことのトップ3は「望みを高くもちすぎないでほしい」(33.3%)、「勉強や成績の話ばかりするのはやめてほしい」(31.7%)、「自分の考えを押しつけないでほしい」(26.7%)となっている。

■進路選択で保護者にしてほしいこと<高校生> (全体/複数回答)



100.0 「2009年 全体」より10ポイント以上高い  
 100.0 「2009年 全体」より5ポイント以上高い  
 ※「2009年 全体」の降順ソート

■進路選択で保護者にやめてほしいこと<高校生> (全体/複数回答)



100.0 「2009年 全体」より10ポイント以上高い  
 100.0 「2009年 全体」より5ポイント以上高い  
 ※「2009年 全体」の降順ソート

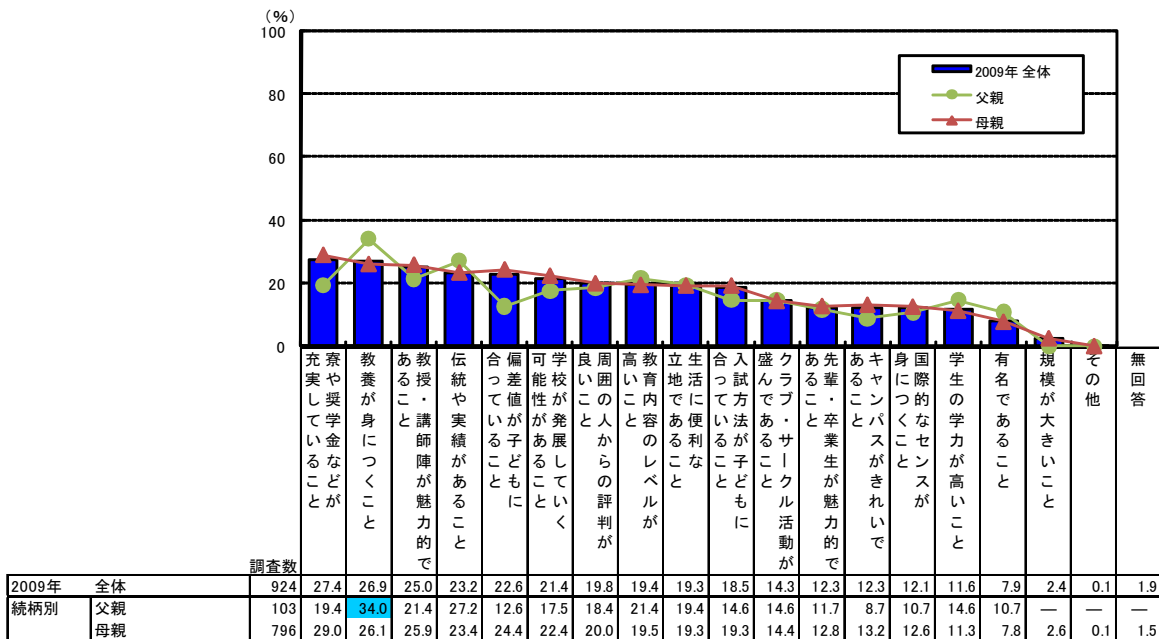
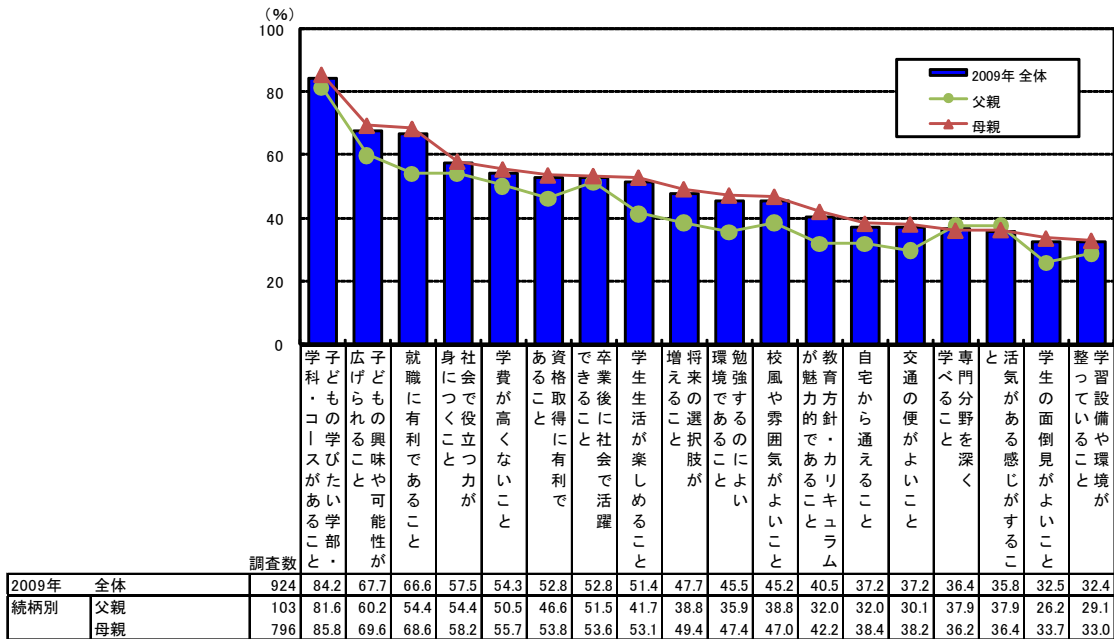


【保護者が進学先を検討する上で重視すること】<保護者(進学希望)>

保護者が子どもの進学先検討時の重視項目のトップは「子どもの学びたい学部・学科・コースがあること」  
次いで「子どもの興味や可能性が上げられること」「就職に有利であること」

保護者の重視する項目としては、「子どもの学びたい学部・学科・コースがあること」(84.2%)、「子どもの興味や可能性が上げられること」(67.7%)に続いて、「就職に有利であること」(66.6%)、「社会で役立つ力が身につくこと」(57.5%)、「資格取得に有利であること」(52.8%)、「卒業後に社会で活躍できること」(52.8%)など、進学先の「卒業後」に関する項目が上位に上がっている。また、「学費が高くないこと」(54.3%)も上位に上がっている。

■保護者は子どもの進学に関してどんなことを重視するか<保護者> (進学希望\* / 複数回答)



100.0 「2009年 全体」より10ポイント以上高い  
100.0 「2009年 全体」より5ポイント以上高い  
※「2009年 全体」の降順ソート  
\*子どもの高校卒業後の進路として大学・短大・専門学校を希望している保護者

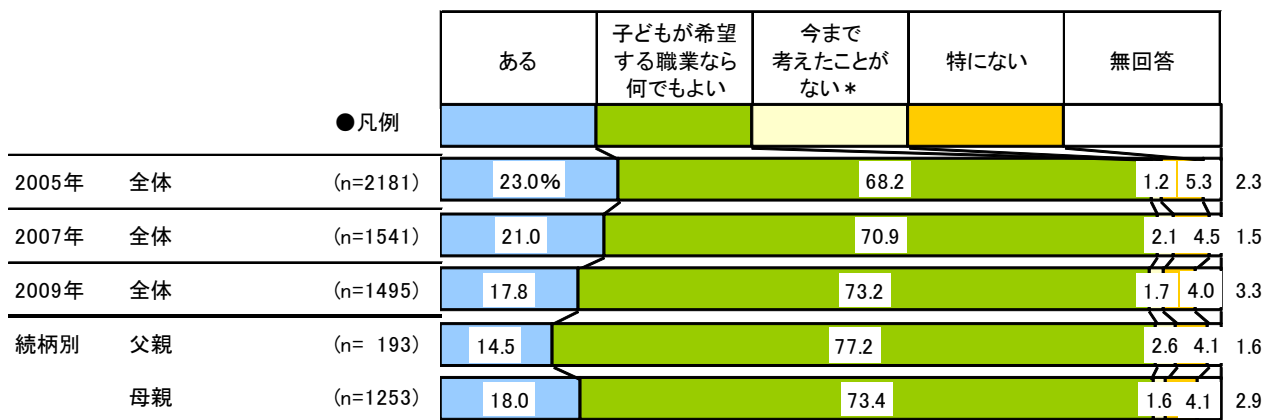
## 【保護者が子どもに就いてほしい職業／高校生が就きたい職業】<保護者・高校生>

### 保護者の約7割が「子どもが希望する職業なら何でもよい」

保護者に対し、子どもに就いてほしい職業があるかを聞いたところ、73.2%が「子どもが希望する職業なら何でもよい」と回答。就いてほしい職業が「ある」は17.8%だった。2005年より「子どもが希望する職業なら何でもよい」割合が増加(68.2%→70.9%→73.2%)し、就いてほしい職業が「ある」割合は減少(23.0%→21.0%→17.8%)している。

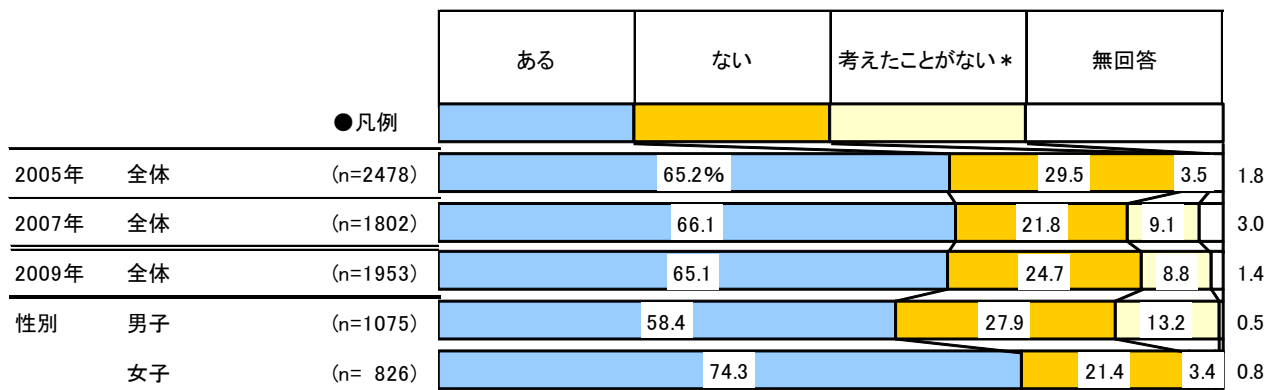
高校生は将来就きたい職業が「ある」のは65.1%と、2005年以降横ばいが続いている。

### ■保護者は子どもに就いてほしい職業があるか<保護者> (全体/単一回答)



\* 2005年は「今まで考えたこともない」

### ■高校生には将来就きたい職業があるか<高校生> (全体/単一回答)



\* 2005年は「考えたこともない」

## ＜参考＞ 希望進路別 保護者が子どもに就いてほしい職業／高校生が就きたい職業（上位5位）

### 【大学・短大進学希望】

＜保護者＞（大学・短大進学希望 \* 就いてほしい職業がある／単一回答）

n=149 (%)

1位	公務員(国家・地方)	31.5
2位	教師	14.8
3位	看護師	8.1
4位	薬剤師	6.7
5位	弁護士・法律関連	4.7
5位	保育士・幼稚園教諭	4.7

\* 子どもの卒業後の進路として大学・短大のいずれかを希望している保護者

＜高校生＞（大学・短大進学希望 就きたい職業がある／単一回答）

n=700 (%)

1位	教師	12.7
2位	公務員(国家・地方)	7.9
3位	保育士・幼稚園教諭	7.0
4位	技術者・研究者	5.6
5位	看護師	5.4

### 【専門学校進学希望】

＜保護者＞（専門学校進学希望 \* 就いてほしい職業がある／単一回答）

n=47 (%)

1位	看護師	29.8
2位	公務員(国家・地方)	17.0
3位	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	8.5
4位	理学療法士・作業療法士	6.4
5位	事務	4.3
5位	美容師・理容師	4.3

\* 子どもの卒業後の進路として専門学校を希望している保護者

＜高校生＞（専門学校進学希望 就きたい職業がある／単一回答）

n=256 (%)

1位	看護師	14.1
2位	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	10.5
3位	美容師・理容師	10.2
4位	整備士	6.6
5位	俳優・タレント・ミュージシャン・声優	6.3

### 【就職希望】

＜保護者＞（就職希望 \* 就いてほしい職業がある／単一回答）

n=43 (%)

1位	公務員(国家・地方)	53.5
2位	製造・加工・組立などのモノづくり	14.0
3位	社会福祉士・介護福祉士・福祉関係	7.0
4位	会社員	4.7
5位	技術者・研究者	2.3
5位	トリマー・動物関連	2.3
5位	事務	2.3
5位	整備士	2.3
5位	販売(ショップの店員など)	2.3

\* 子どもの卒業後の進路として就職を希望している保護者

＜高校生＞（就職希望 就きたい職業がある／単一回答）

n=286 (%)

1位	製造・加工・組立などのモノづくり	26.6
2位	公務員(国家・地方)	11.9
3位	整備士	7.0
4位	販売(ショップの店員など)	5.6
5位	事務	4.5